

公益社団法人 山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

平成26年度 事業報告書

自 平成26年7月 1日
至 平成27年6月30日

総括

平成24年9月に誕生した第2次安倍内閣は、平成25年12月に第3次安倍政権へと移行し、発足当時から掲げられていた「アベノミクス」の効果からか、景気も回復傾向にあるように思われます。株価も、円安が進行しているものの、外国人投資家からの買い注文の増加などにより、リーマンショック直前やITバブル時の株価を更新し、外国人観光客の大幅な増加による内需拡大や外貨獲得、対外輸出額が増加するなど、日本経済が長年苦しんできたデフレ状況から脱却するとともに、日本が失った国際競争力の回復を期待させる状況にあります。マクロ経済の好況は、協会の受託件数にも効果がおよび、前期までの漸減から脱却し、平成26年度の受託金額は前年度比130%という結果を達成することとなりました。

公益目的事業につきまして、特に法務局登記所備付地図作成作業では、下関市丸山地区を業務地とする事業を受託するとともに、昨年度から進めていた周南市金剛山地区を業務地とする受託事業を無事完了することができました。また、周南地区の業務では、永久標識の設置を約1,300点行い、将来予想される公共事業及び不動産取引等の円滑な推進に寄与することができました。

(1) 総務部

- ① 新定款及び諸規則・諸規程の周知、徹底については、配布済みである新定款・諸規則集を通じて周知、徹底を行いました。
- ② 諸情勢の社員への情報提供は、各地区との連携を図るとともに、協会ウェブサイト及び電子メール等を活用した情報提供を行いました。
- ③ 各部会の開催は、可能な限りインターネットを用いた無料通話であるSkypeを導入することで経費削減に努めました。
- ④ 理事会では、社員専用グループウェア等を活用した資料の事前配布及び参加の理事に、事前に書面で報告を求めるなど、理事会の効率的な議事運営を行いました。
- ⑤ 機関誌「みちしるべ」No.36を発刊し、啓発活動として官公署等に配布しました。
- ⑥ 調査士会・全公連・中公連・近隣協会と情報交換および連帯協議を適宜行いました。特に調査士会には、理事会への調査士会役員の出席を依頼し、情報交換と連携を図りました。また、中公連・調査士会中国ブロック協議会・中調政連の3者による協議会にも出席し、3者による連携の確認を行いました。

協会は新たに平成27年6月、山口県ゆとりある住生活推進協議会に入会し、

空家対策事業についての情報収集先を広げるなど、今後、事業について加入各団体との連携を図ることとしました。

- ⑦ 公益法人定期報告書の提出、それに伴う補正などについて、県学事文書課と協議を行い、適切な処理を行いました。
- ⑧ 協会ウェブサイトについては、4月1日にサーバーの移転と同時にリニューアルを行い、社員専用グループウェアの拡充を行いました。
- ⑨ 10月にG N S S機器を新規に購入し、従来のG P S機器と併せて適正に管理・運営行いました。従来の機器につきましては、一部経年劣化による不具合等も見受けられ、部品調達が困難な機器もあるため、機器の使用停止を含めた今後の利用方法の検討を行いました。
- ⑩ 災害協定書の案文の提示を、現在3市に行っていますが、期間中には協定書締結に至りませんでした。

(2) 経理部

平成20年度公益法人会計基準への対応作業については、顧問税理士と連携し、科目の振り分け等の見直しを適宜行いました。

(3) 業務部

- ① 公益法人移行による新しい業務処理体制の検討を行いました。
- ② 業務適正化の推進を行いました。

測量積算ソフトの活用

電子納品ソフトの活用

成果品のチェック方法の検討とチェックリスト提出の徹底

社員専用グループウェアの改善点についての検討

G N S S機器の新規購入のための機種選定

- ③ 社員研修会を下記のとおり行いました。

○G N S S研修会（習得研修）

日 時：平成26年11月11日（土）13：30～17：00

会 場：協会会議室

参加者： 16名（地区代表者対象）

○調査士会・公嘱協会との合同研修会

日 時：平成26年12月13日（土）13：30～16：30

会 場：山口県労働者福祉協議会会館 4階会議室

参加者： 56名（うち協会社員42名）

- ④ 官公署に対する啓発活動は、今までの活動と平行して、県監理課及び県土木建築事務所を中心に、嘱託登記アドバイザーによる啓発活動を行いました。また、中国地区用地対策連絡会から研修会への講師派遣依頼があり、平成26年11月に開催された研修会に、渡邊理事長を講師として派遣いたしました。
- ⑤ 山林地図検討委員会は、山口市全域の成果を作成するために、山口市管財課及び山口市内の各地域交流センターのご協力の下、山林絵図のスキャニング作業を行い、旧市内全域の収集をほぼ完了いたしました。スキャニング作業と同時に、山口地方法務局や山口県森林企画課から提供されたデータの加工を行いました。